

時代を映す錦絵

— 浮世絵師が描いた幕末・明治 —

信郎

開港

横浜外人行烈之図
歌川芳員画
文久元年
(1861)2月



投機



かつぼれかへうた
東柴画 明治6年(1873)

事件



延寿安穩之見酔 文久3年(1863)

災害



弁慶なまづ道具 安政2年(1855)

伝染病



麻疹退治
歌川芳藤画
文久2年(1862)7月

おたけ大日如来略えんぎ
歌川国芳画
嘉永2年(1849) 個人蔵

作品はいずれも部分図
所蔵表記のないものは本館蔵

2025年

3月25日(火)～
5月6日(火・休)

- 会場＝国立歴史民俗博物館 企画展示室A・B
- 開館時間＝9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日＝月曜日(休日にあたる場合は開館し、翌日休館)
その他館内メンテナンス等のため休館する場合があります。
- 入館料＝一般1,000円(800円) 大学生500円(400円)
※()内は20名以上の団体料金。
※高校生以下入館無料。
※総合展示・くらしの植物苑もご覧いただけます。
- 主催＝大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History



〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 お問い合わせ＝ハローダイヤル:050-5541-8600
れきはくホームページ＝<https://www.rekihaku.ac.jp>
館内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開館日・開館時間の変更、各種催し物を延期または中止する場合があります。最新の情報は館のホームページ及びSNSでご確認ください。

時代を映す錦絵

— 浮世絵師が描いた幕末・明治 —

て、世の中の出来事や流行を伝えるメディアとしての役割も果たしました。

このメディアとしての性格は江戸時代末期に急速に強まっていきます。とくに天保の改革を機に風刺画のジャンルが成立してからは、世相を題材とした錦絵の中には、役者絵や美人画など既成のジャンルをしのぐヒット作も出てきます。

本展では、江戸時代末期から明治初期にかけての、戊辰戦争などの戦争や動乱、大地震、疫病の流行、多くの人々を集めた寺社の開帳や見世物、あるいは人々を熱狂させた流行現象など、激動する時代の諸相を描いた錦絵を、その歴史資料的側面に光を当てて展示します。

江戸時代の出版統制令は、幕府や大名家に関する話題や政治の出来事を主題にしたものを出版することを禁じていたので、規制をかいぐるための表現も多彩に発展します。世相を題材とした錦絵を時代順や画題ごとに展示するだけでなく、既存の画題を隠れ蓑としながら、いかに人々に情報を伝えたのかについても紹介します。

展示構成

1. 風刺画の基盤
2. 風刺画の登場
3. 鯨絵
4. 流行り病と錦絵
5. 激動の幕末



⑤



6. 開帳と流行り神
7. 横浜絵
8. 動物狂騒曲
9. 開化絵とその周辺



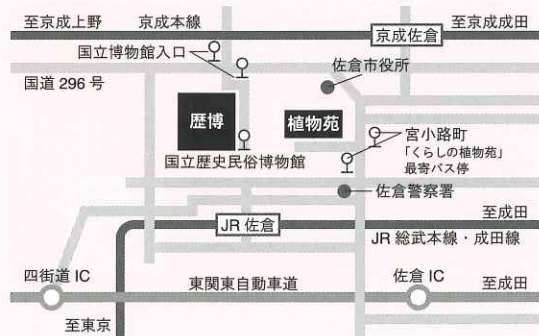
⑥



④

- ①夏の夜虫合戦 慶応4年(1868)5月
- ②子供芝居忠臣蔵 四段目 慶応4年(1868)
- ③源頼光公館土蜘蛛妖怪図 歌川国芳画 天保14年(1843)
- ④横浜外国人行列之図 歌川芳員画 文久元年(1861)2月
- ⑤延寿安穩之見酔 文久3年(1863)
- ⑥麻珍退治 歌川芳藤画 文久2年(1862)7月

すべて本館蔵



交通案内

【京成電鉄利用の場合】
京成上野駅から京成佐倉駅(京成本線經由特急利用の場合約55分)下車、徒歩約15分またはバス約5分「国立博物館入口」が「国立歴史民俗博物館」下車
【JR東日本利用の場合】
東京駅から総武本線佐倉駅(快速利用の場合約60分)下車、バス約15分「国立博物館入口」が「国立歴史民俗博物館」下車
【自動車利用の場合】
東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分、国道296号沿い(無料駐車場完備)

同時開催

第3展示室特集展示「和宮ゆかりの雛かざり」
2025年2月18日(火)―3月30日(日)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立歴史民俗博物館
National Museum of Japanese History

